

公益社団法人 日本水産学会
令和 6 年度第 1 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 6 年 3 月 26 日（月）13 時 00 分～15 時 12 分

2 開催された場所 東京海洋大学品川キャンパス白鷺館 2 階多目的スペース（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 20 名、定足数 10 名

4 出席理事総数 18 名

（上記 2 の会場での出席）

東海 正、廣野育生、佐野元彦、大嶋雄治、マーシー・ワイルダー（報告事項中 14 時 22 分に着席）、蒲原 聰、澤田好史

（Web 会議システムによる出席）

山下 洋、潮 秀樹、落合芳博、小島隆人、古川史也（報告事項中 14 時 54 分に退席）、木村暢夫（第 1 号議案審議中 13 時 12 分に着席）、栗田 豊、八木信行、奥村卓二、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、野澤知世

6 出席幹事

（上記 2 の会場での出席）

二羽恭介、神尾道也

（Web 会議システムによる出席）

加藤豪司、高橋希元、小糸智子、森田哲朗

7 議 案

決議事項

第 1 号議案 「令和 5 年度事業報告」の件

第 2 号議案 「令和 5 年度貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録及び監査報告」の件

第 3 号議案 「議決権行使書」の件

第 4 号議案 「企画広報委員会委員及び幹事の追加」の件

第 5 号議案 「令和 7 年度春季大会の日程及び場所」の件

第 6 号議案 「後援」の件

第 7 号議案 「入会承認」の件

報告事項

① 令和 5 年度第 7 回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

（1）定足数の確認等

東海会長が、定足数の充足、及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同

等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び会場と Web 会議システムを用いてハイブリッド開催する旨を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「令和 5 年度事業報告」の件（別紙 1）

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第 2 号議案 「令和 5 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び監査報告」の件（別紙 2）

小島財務担当理事から、令和 5 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について原案の説明があった。また野澤監事から監査報告書について原案の説明があった。出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第 3 号議案 「議決権行使書」の件

潮総務担当理事から、議決権行使の導入及び提出期限を 5 月 8 日正午までとするとの原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 4 号議案 「企画広報委員会委員及び幹事の追加」の件

潮総務担当理事から、企画広報委員会委員及び幹事の追加について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

委員 [選出] 西木一生

幹事 [選出] 澤山英太郎

第 5 号議案 「令和 7 年度春季大会の開催日程及び場所」の件

潮総務担当理事から、令和 7 年度春季大会の開催日程及び場所について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

開催日程：令和 7 年 3 月 26 日～29 日

開催場所：北里大学相模原キャンパス

第 6 号議案 「後援」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。大嶋理事から補足説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

① 第 21 回毒性評価国際シンポジウム（ISTA21）

主 催 第 21 回毒性評価国際シンポジウム（ISTA21）実行委員会

共 催 環境省 他 7 団体

日 程 令和 6 年 8 月 25 日～30 日

場 所 福岡リーセントホテル（福岡県福岡市）

希 望 後援

負担金 なし

第 7 号議案 「入会承認」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席者全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

① 令和 5 年度第 7 回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から、以下の報告があった。

- 1) 全国水産試験場長会から情報提供・話題提供資料（トピックス）等についての資料提供があった。蒲原理事から、各支部でもこの資料を共有し、各地の水産試験場との連携につなげることができるとの補足説明があった。
- 2) 筑波大学下田臨海実験センターの共同利用・共同研究拠点申請に対して要望書ではなく支援するという意味の文書を提出した。
- 3) 水産・海洋科学研究連絡協議会について、特になし。
- 4) 能登半島地震による水産高校への被害について、文部科学省の水産の教科調査官から、新潟海洋高校、富山県の氷見高校と滑川高校の状況に関する情報提供を得ており、今後要望があれば対応を考えたい。
- 5) (一社) 日本農学会の総会が令和 6 年 2 月 10 日に開催され、役員の交代において副会長に本会前会長の金子豊二会員、監事に佐藤秀一会員が決まった。また、日本農学会シンポジウム「国際貢献する日本の農学」が 2024 年 10 月 5 日に東京大学の弥生講堂で開催され、本会からはマーシー・ワイルダー会員が「エビ類養殖業の現状と研究と技術開発を通じた国際貢献のあり方」を講演する予定である。そのほか、日本学術会議で策定している未来の学術振興構想 2023 の進捗状況が報告された。
- 6) 日本農学賞選考会が令和 6 年 2 月 10 日に開催され、本会から推薦した松山倫也会員が日本農学賞を受賞した。

・庶務関係

潮担当理事から以下の報告があった。

- 1) 令和 5 年度資格喪失者について
- 2) 令和 6・7 年度支部長指名支部幹事について
- 3) 以下の協賛 1 件について、「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の 3) を適用した。

① 第 11 回海中海底工学フォーラム・ZERO Hybrid

主 催 海中海底工学フォーラム・ZERO 運営委員会

協 賛 日本船舶海洋工学会 他 7 団体

日 程 令和 6 年 4 月 26 日

場 所 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール「ハリコット」
(東京都目黒区)

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から、令和 6 年 3 月 5 日に企画広報委員会を開催し、委員会幹事は関東近辺以外からも選任することを決めた旨の報告があった。また、大会期間中に開催する委員会に出席するための旅費を支給できるよう規程の一部改正することを理事会で検討してほしいとの意見があり、来期に検討してほしい旨の報告があった。

本件に関連して、財務担当の小島理事と佐野理事から、今年度は黒字であったが会員数が減少して会費収入は毎年 100 万円減少しているため、財政の見通しは不透明である旨の説明があった。

・財務関係

小島担当理事 特になし。

・編集関係

落合担当理事から、出版に関する科研費（研究成果発信促進費国際情報発信強化 A）が不採択だったことから新たな戦略が必要である旨の報告があった。令和 6 年 3 月 29 日に第 1 回編集委員会を開催する予定である旨の報告があった。

本件に関連して、東海会長から、これまで科研費（研究成果発信促進費国際情報発信強化 B）で 2 回採択されてきたので、オープンアクセス化など方向性を変えて申請していく必要があった旨の説明があった。

・学会賞関係

大嶋担当理事から、第 1 回学会賞選考委員会を令和 6 年 3 月 4 日に開催し、第 2 回の開催が 9 月 9 日に決定したことに加え、学会賞推薦書様式の確認を行い推薦募集の際に学会賞授賞規程第 3 条に関する注意喚起を記載することを検討している旨の報告があった。

・シンポジウム関係

有瀧担当理事 特になし。

・出版関係

山下担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事から、水産技術誌監修委員会の委員長が海洋大の濱崎会員、副委員長が水産研究・教育機構の中安氏に決まった旨の報告があった。また、3 月 22 日に令和 6 年度第 1 回の水産技術監修委員会として、水産研究・教育機構の組織改編に伴い機構の水産技術企画・編集委員会規則の改正についてメール審議を行った旨の報告があった。水産技術誌の原稿 5 編の査読が終わり受理に移っていくため、17 巻 1 号発行の目途が立った旨の報告があった。

・国際交流関係

佐野担当理事から、令和 5 年度春季大会時において SDGs に関する英語セッションを令和 6 年 3 月 29 日と 30 日に行い、来賓としてアメリカ水産学会の会長 1 名、イギリス諸島水産学会の会長 1 名学生 1 名、韓国水産科学会の会長 1 名、副会長 1 名、会員 1 名、中国水産学会の副幹事長 1 名が来日される旨の報告があった。海外からの来賓は水産学若手の会のナイトポスターセッションに参加するとともに SDGs セッションでキーノート口演発表する旨の報告があった。海外からの来賓の宿泊費を支給しているが費用が高騰しており今後海外からの招へいが難しくなると予想される旨の報告があった。

国際交流委員会委員長である廣野理事から、今後は安価なビジネスホテルにするなど宿泊費用高騰への対応が必要であることに加え、春季大会の時期はホテルの予約も取りにくいくこと、また幹事の業務負担も考慮し旅行会社への業務委託を検討したいとの説明があった。また、アジア水産学会がインドのニューデリーで令和 7 年 2 月 5 日

から 15 日に開催されるとの報告があった。

・水産教育関係

吉田担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に水産教育推進委員会を開催し、委員会後に水産教育推進委員会と全国水産高校学校長協会との勉強会を開催する旨の報告があった。

・水産政策関係

八木担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に水産政策委員会を開催し、午後はシンポジウム「福島第一原発処理水と水産業」を開催する旨の報告があった。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に漁業懇話会委員会と講演会「定置網漁業における数量管理と選択漁獲技術」を開催する旨の報告があった。

・水産利用関係

落合担当理事から、令和 6 年 2 月 21 日に第 3 回水産利用懇話会委員会と第 2 回の講演会を実施し、講演会では合計 80 名（このうちオンライン 30 名）の参加者があった旨の報告があった。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に第 1 回水産増殖懇話会委員会と講演会「国内養殖産業におけるこれからの育種」を開催する旨の報告があった。

・水圈環境関係

大嶋担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に水産環境保全委員会主催のシンポジウム「農林水産業の気候変動影響評価手法と水産分野における将来予測・適応策—水産分野における課題と展望—」と第 1 回委員会を開催する旨の報告があった。

・男女共同参画関係

東海会長 特になし。

・水産学若手の会関係

廣野担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日に水産学若手の会主催のシンポジウム等を開催する旨の報告があった。

・社会連携関係

木村担当理事 特になし。

・将来計画関係

山下担当理事 特になし。

・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事 特になし。

・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、令和 6 年 2 月 16 日に東北支部例会・総会を開催し、秋田大学の桐明先生・と東北大学の村上先生の講演を行った旨の報告があった。また、3 月から岩手大学の平井先生が支部長となった旨の報告があった。

・関東支部、地域連携関係

八木担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日から令和 6 年度春季大会が行われる旨の報告があった。水産研究・教育機構の生田和正先生と引継ぎを実施した旨の報告があった。

・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事から、中部支部の事務局を水産研究・教育機構から三重大学へ交代するため、2月27日に三重大学で引継ぎを実施した旨の報告があった。三重大学の河村先生を支部長とした新体制で令和6年度の支部活動を実施していく旨の報告があった。

・近畿支部、地域連携関係

澤田担当理事から、支部で開催している研究交流会「支部コン」の活動の成果として、食害を与える未利用魚を利用することで個体数を押さえる、また養殖もすることについての研究コンソーシアムが作られようとしている旨の報告があった。本件について八木理事からどのようにすれば参加できるか後ほど教えてほしいとの要望があった。

・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事から、令和6年度から中国・四国支部の事務局が高知大に移ることに伴い、3月19日に引継ぎを実施した旨の報告があった。

・九州支部、地域連携関係

吉田担当理事から、令和6年度から長崎大学に支部事務局が移ることに伴い、2月29日に引継ぎを実施した旨の報告があった。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事から、英文書籍の新刊「Eel Science」について会員割引き価格で購入できる旨の報告があった。

・財務検討委員会（特別委員会）

小島担当理事から、科研費の不採択に伴い来年度は赤字が予想される旨の報告があった。

・その他

佐藤監事から、第9回世界水産学会議が3月3日からシアトルで行われ、80か国から1500人が参加し、そのうち日本人10人ほどの参加があった旨の報告があった。また、次の世界水産学会議について中部アメリカでの開催が検討されており9月に開催場所が正式に決まる旨の報告があった。

② その他確認事項

(1) 委任状及び議決権行使書について

潮総務担当理事から、決議事項で承認された委任状及び議決権行使書を正会員へ郵送するので、各支部や各機関等の会員に対して期限までに提出するよう周知いただきたいとの要請があった。

(2) 理事会の開催日程について

潮総務担当理事から、次回の理事会は令和6年4月20日（土）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもって会場とWeb会議システムを併用した会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15時12分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 6 年 3 月 26 日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監事

監事